

地球環境に配慮をし続ける優しい企業として、社会に貢献します。



エコアクション21

エコアクション21 環境活動レポート

対象期間 2010年1月～12月



目 次

1. 環境方針	1
2. 事業内容	2
3. エコアクション21推進体制組織図	5
4. 環境目標と活動計画・実績等	6
4-1 サンメッセ香川	7
4-2 アルファあなぶきホール	9
4-3 高松テルサ	11
4-4 クパーク津田・クアトリさぬき津田	13
4-5 津田の松原サービスエリア	15
5. 今後の環境活動計画（全施設共通）	17
6. 環境関連法規等の遵守状況について	18
7. 代表者による全体評価と見直し	18

1. 環 境 方 針

弊社は、経営理念『穴吹エンタープライズ(株)はサービス事業を通じて地域社会の発展とその文化の創造に貢献します』及び、下記経営方針の基に、「環境方針」を定め、維持いたします。

そして、地球環境に対する配慮をしつづける、優しい企業として、社会に貢献します。

◆ 経営方針

・お客様に対して・・・

私たち穴吹エンタープライズ株式会社は、ご利用者様が期待する以上のサービスを提供することで「安心」と「満足」と「感動」を追求します。

・社員に対して・・・

主体性や創造性が発揮できる自由な風土を創り、従業員一人一人の能力を最大限に発揮します。

・取引会社様に対して・・・

ご利用者様の満足を共通の喜びとして、信頼関係を相互に築き合います。

・地域社会に対して・・・

人々の出会いと交流の場を提供し、地域文化の伝承とともに、常に新しい文化の情報を発信します。

【環 境 方 針】

1. 環境負荷の少ない事業活動を推進し、継続的改善と汚染予防に留意することにより、自然環境の保全に貢献します。
2. 環境関連法規制及び当社の同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動において、環境負荷の低減を実現していくため、施設所有者(県・市等の地方公共団体、穴吹興産(株)等)に対し施設の改善等について積極的な提案、働きかけを行います。
4. 環境配慮活動を行っていくために、施設のご利用者様に対する啓発活動を積極的に行います。
5. 環境目標を設定し、これを着実に推進し見直す仕組みとともに維持します。
6. 環境方針の適切性を常に判断し、当社の活動、サービスに合わせて、定期的に見直します。
7. 本方針は、環境管理責任者が該当する全従業員に周知し、全従業員はこの方針をよく理解し、日常的に環境管理活動が維持されるよう努めます。

2011年 3月 11日

穴 吹 エ ン タ ー プ ラ イ ズ 株 式 会 社
代表取締役

小 島 英 夫

2. 事業内容

□ 事業所名及び代表者名

穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役 小島 英夫

□ 所在地

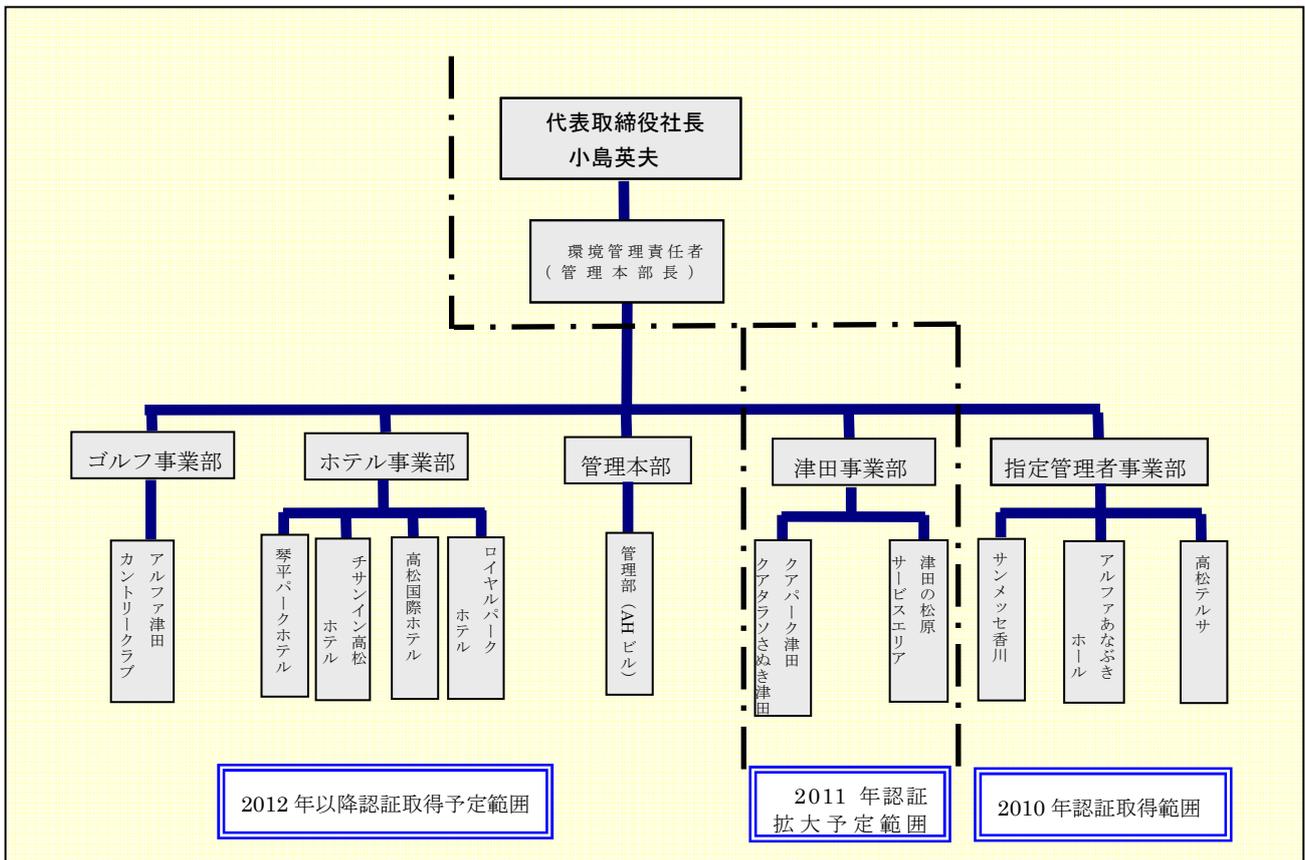
本社: 香川県高松市福田町11番地1

□ 環境責任者及び環境管理事務局連絡先

- ・環境管理責任者: 水谷 正裕
取締役・執行役員 管理本部長
電話: 087-825-0556
- ・事務局連絡先: 施設・購買部施設管理課 稲谷 敏
電話 087-831-1529

□ 全社組織について

当社、穴吹エンタープライズ株式会社は下図に示すように、宿泊施設・料飲施設運営を主とするホテル事業部を中核とし、スポーツ・健康増進施設、サービスエリアを運営する津田事業部、及びゴルフ事業部、公共施設を運営する指定管理者事業部から構成されております。



□今後のエコアクション21導入計画について

2010年度は、2009年度の指定管理者事業部に続き、津田事業部でのエコアクション21への導入を開始致しました。今後は、2事業部での活動実績をベースに以下のスケジュールで全社への展開を計画しております。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
指定管理事業部	→			
津田事業部		→		
ホテル事業部			→	
ゴルフ事業部				→

□エコアクション21対象事業と事業活動の内容

指定管理者事業部	サンメッセ香川・アルファあなぶきホール・高松テルサの3施設からなる。指定管理者制度に基づく、公の施設の維持管理・運営・イベント運営の総合プロデュースを行う。
津田事業部	津田の松原SA・クアパーク津田・クアタラソさぬき津田の3施設からなる。サービスエリア及びスポーツ・健康増進施設・宿泊施設関連施設運営を主とする。

□事業の規模(全社)

総従業員数 358人(2010年12月末現在)
 全社売上高 4,320百万円(2009年7月～2010年6月)

□事業の規模(EA21運用対象範囲)

従業員数 146人(2010年12月末現在)
 売上高 2,265百万円(2009年7月～2010年6月)
 以下の5施設をEA21対象施設として運営中。

● サンメッセ香川

所在地: 香川県高松市林町2217-1
 施設規模:延床面積 11,663㎡
 1994年開業
 (2005年4月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始)

香川インテリジェントパーク内にある県内最大の総合コンベンション施設です。大小2つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。大規模なイベント、見本市、展示会から少人数の会議、勉強会まで幅広くご利用いただいております。

サンメッセ香川外観



● アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)

所在地: 香川県高松市玉藻町 9-10
 施設規模:延床面積 27,820 ㎡
 1988 年開業
 (2006 年 4 月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始。)

音楽、舞踊、演劇、講演会などあらゆる舞台芸術やイベントに対応できる大小2つのホールと各種練習室、会議室を備えた香川県の舞台芸術の拠点施設。国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議などに幅広くご利用いただいております。

アルファあなぶき外観



● 高松テルサ

所在地: 香川県高松市屋島西町 2366-1

施設規模: 延床面積 10,994 m²

1993 年開業

(2009 年 4 月より、香川県高松市の指定管理者として当社が業務開始)

会議室、研修室、ホール等を有する多目的施設です。

貸し館に加え、宿泊施設やトレーニングジムも併設しております。

健康増進・文化教養のための自主企画事業を数多く実施。

地域と一体化したテルサ音楽祭、勤労者美術展といったイベントなどにも広くご利用いただいております。

高松テルサ外観



● クアパーク津田・クアタラソさぬき津田

・クアパーク津田(国民宿舎松琴閣)

所在地: 香川県さぬき市津田町松原地内

施設規模: 延床面積 2,422 m²

1962 年開業

(1996 年 11 月より、株式会社SA公社より委託され弊社が業務開始。)

「津田の松原」の東端に位置し、瀬戸内海を望む砂浜に面した宿泊施設、会議室、研修室、ホール、入浴施設、レストラン等を有する多目的施設です。

地域と一体となった運営をし、広くご利用いただいております。

クアパーク津田外観



・クアタラソさぬき津田

所在地: 香川県さぬき市鶴羽24-2

施設規模: 延床面積 1,885 m²

1993年開業

(1996年11月より、株式会社SA公社より委託され弊社が業務開始。)

温水プール、入浴施設、トレーニングジムを主体とした健康増進を目的とした地域密着型施設です。

隣接のクアパーク津田と、連絡通路で結ばれており、一体的な利用が可能です。

クアタラソさぬき津田外観



● 津田の松原サービスエリア

所在地: 香川県さぬき市鶴羽 935-5 及び 939-1

施設規模: 延床面積 2,248 m²

2001 年開業

(2009 年4月より、株式会社SA公社より委託され弊社が業務開始)

日本の渚百選瀬戸内海「津田の松原」を眼下に望む『津田の松原SA』内で飲食物の提供と土産物の販売をしています。

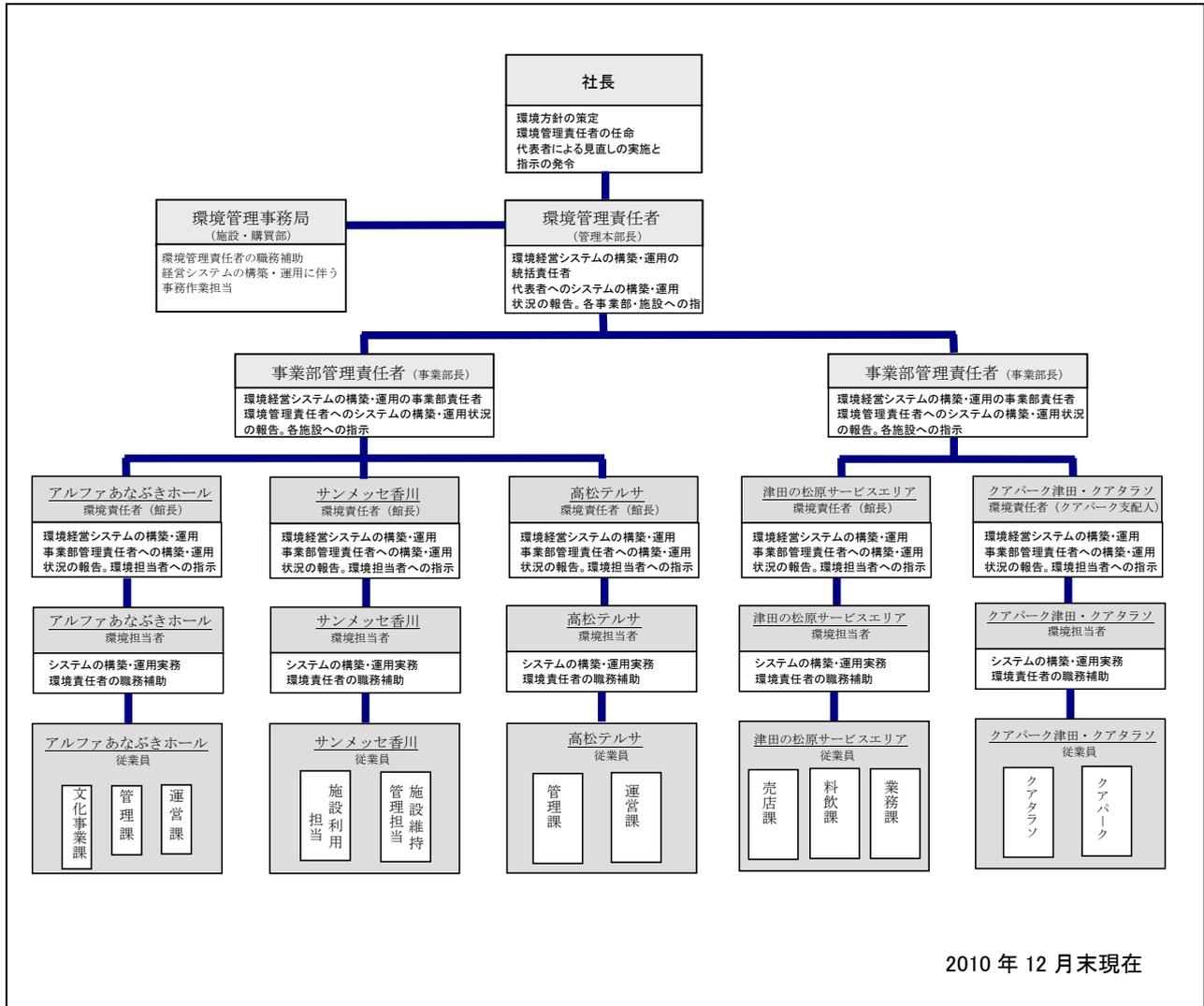
レストランでのお食事の他、本場讃岐うどん「あなぶき家」、

お土産・売店では地域特産品を多数ご用意し、香川県外・県内のお客様のおもてなしをさせていただいております。

津田の松原SA外観



3. エコアクション21推進体制組織図



4. 環境目標と活動計画・実績

【各施設共通目標について】

☆環境配慮意識をご利用者様にご理解いただくための啓発活動

☆従業員の環境知識・意識の向上を目的としたエコ検定合格(受検)

弊社はこれまで年度の経営計画や方針の中で、環境配慮に関連する目標を設定し、環境活動に取り組むと同時に、顧客「不」満足度調査や全社規模でのCS(お客様満足)推進活動の実施をしております。その活動を踏まえ、お客さまのニーズや社会環境の変化を施設運営に反映しております。今後は全施設でのエコアクション21の導入で、更なるレベルアップを図る予定です。

さて、弊社事業はサービス業という性格上、お客さまへのサービスレベルを落とすことのない方法、範囲内での活動が重要となります。よって、上記共通目標を掲げ、お客様のご理解を得ながらエコアクション21の活動を推進して行きたいと考えております。

また、『指定管理者事業部』の3施設は公の施設であり、改善諸策について積極的に施設設置者である地方公共団体へ提案をしております。また、『津田事業部』の3施設についても、取組みへの成果が出るよう継続的に活動を行う方針です。

【本年度の各施設の活動計画・実績・評価について】

昨年度、エコアクション21への取組を始めた『指定管理者事業部』につづき、本年度は、『津田事業部』が取組を始めました。

エコアクション21への取組が2年目となる『指定管理者事業部』においては、エコ活動について従業員をはじめ、取引業者様やお客様のエコ意識が浸透・定着しつつ有るのを実感しております。

各施設で、関係業者様やお客様にご協力をいただきながら、それぞれの施設に合ったエコ活動を、地道に続けております。取引業者様へは、清掃時の照明を最小限にしてもらうことや、梱包資材を持ち帰っていただくこと。また、お客様には、エコ活動へのご理解をいただき『貸し出しブランケット』の利用や『洗浄箸の利用』をしていただくことで、光熱費や廃棄物量の削減につなげることが出来ました。

しかしながら、『問題の是正・予防』については、まだまだ報告事例が少なく、継続的改善のために積極的な取組が望まれます。

また、『エコキャップ運動』については、施設内で回収したキャップを、エコキャップ推進協会様への寄贈を通じて、社会への貢献も実現することができ、環境配慮の輪(和)を、わずかでも「地域」や「社会」に広めることができたのではないかと自負いたしております。

参加型のエコを提案、実行することで、より多くの方々のご協力が必要になりますが、それ以上に、成果を出すことができる取組みをわたしたちは、これからも続けて行きたいと考えております。

以下に各施設の目標・計画・実績・評価をご報告させていただきます。

※各施設の環境活動の実績・目標数値における、電気の使用に伴うCO₂実排出量の算定には、四国電力のCO₂排出係数**0.378kg-CO₂/kWh** (平成20年度実績) を使用しております。

4-1 サンメッセ香川

[運用期間 2010年1月～12月]

環境目標	2010年(1-12月)			2011年	2012年	
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③成果 (②-①)	排出量 (目標)	排出量 (目標)	
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	14,450.8 kg-CO ₂	14,958.3 kg-CO ₂	507.5 kg-CO ₂	13,576.3 kg-CO ₂	13,379.9 kg-CO ₂	
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	1,011.3 kg	1,058.4 kg	47.1 kg	970.1 kg	956.0 kg	
3.節水による総排水量削減	117.9 m ³	123.0 m ³	5.1 m ³	110.7 m ³	109.0 m ³	
4.コピー用紙使用量の削減	4,427.1 枚	3,984.1 枚	▲443.0 枚	4,364.0 枚	4,300.9 枚	
5.上記項目の従業員・ご利用者様への啓発	従業員及び委託業者への教育を年3回以上、及び、ご利用者様への啓発を目標として継続中。従業員への教育については実施済み。ご利用者様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。					
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上(2010年1月～2011年2月)		目標合格者数	受験者数	合格者数	2011年 目標合格者数	2012年 目標合格者数
	09' 12 受験	2名	5名	3名		
	10' 07 受験	1名	2名	0名		
	10' 12 受験		4名	2名		
合計	3名	11名	5名	1名	1名	

※基準値:2006-8年度実績値平均を基に設定。
※記載数値は稼働率で除して算出しております。

【環境活動実績と評価】

＜1. 省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について＞

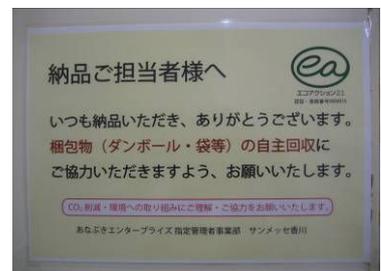
・施設内の電灯不要箇所の間引きを実施しましたが、2010年夏季の多岐に亘る猛暑及び冬期における空調使用に伴い、排出量が増える結果となりました。



細かく掲示することで、社員の省エネへの意識を高めています。

＜2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について＞

・廃棄物排出抑制及びリサイクル目的に、納品・委託業者様に回収可能物の回収ご協力をいただいております。レストラン新設に際し、お箸等を洗浄利用素材にしました。
・エコキャップ運動への取り組みが定着し、定期的にエコキャップ推進協会様に寄付ができるようになりました。
(今期寄付:4,280個 リサイクル推進によるCO₂削減量 34kg)



梱包物自主回収への協力を求める掲示物

＜3. 節水による総排水量削減について＞

・空調において、クーリングタワー使用箇所の巡回強化し、ドア開閉を定期的に管理しました。また、社内掲示物により、漏水撲滅に努めました。

4-1 サンメッセ香川

[← 前頁続き](#)

〈4. コピー用紙使用量の削減について〉

- ・社内メール活用及びミスプリント削減を推進することにより、コピー使用量の削減ができました。
また、ご利用者様へ会場設備図面を電子メールで提供することにより、利便性と業務効率の向上、省資源化にもつながる結果となりました。

【 次年度の取組内容について 】

- ・施設内空調使用時の巡回において冷暖房の熱効率を落とさないために扉開閉状態のチェックを継続して実施し、社内においては水道光熱費削減を図るために社内掲示物及び朝礼等を活用し、社員の意識向上を図ってまいります。
- ・廃棄物を分別することにより、リサイクル(再利用・再生利用可能物質)量を増やすことで廃棄物(ごみ)を減らし、環境への負荷低減に努めてまいります。



4-2 アルファあなぶきホール

[運用期間 2010年1月～12月]

環境目標	2010年度			2011年度	2012年度	
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③成果 (②-①)	排出量 (目標)	排出量 (目標)	
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	20,395 kg-CO ₂	17,408 kg-CO ₂	▲2,987 kg-CO ₂	20,104 kg-CO ₂	19,813 kg-CO ₂	
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	1.60 kg	1.54 kg	▲0.06 kg	1.58 kg	1.56 kg	
3.節水による総排水量削減	208 m ³	209 m ³	1 m ³	205 m ³	202 m ³	
4.コピー用紙使用量の削減	2,564 枚	2,576 枚	12 枚	2,564 枚	2,564 枚	
5.上記項目の従業員・ご利用者様への啓発	従業員への教育を年3回以上、及び、ご利用者様への啓発を目標として継続中。 従業員への教育については実施済み。 ご利用者様へは館内随所にて、カード等により活動と呼びかけております。					
6.エコ検定合格(受験)による環境意識の向上(2010年1月～2011年2月)		目標合格者数	受験者数	合格者数	2011年目標合格者数	2012年目標合格者数
	09'12受験	4名	4名	4名		
	10'07受験	6名	5名	5名		
	10'12受験		5名	3名		
合計	10名	14名	12名	2名	-	

※基準値:2006-8年度実績値平均を基に設定。

※1,3,4は施設の稼働状況による変動が大きい為、稼働率で除して算出しております。

※2は施設利用人数による変動が大きい為、総入場者数で除して算出しております。

※2010年4月よりレストラン新規開設の為、上記排出量(結果)にレストラン数値を加算しております。

【環境活動実績及びその評価】

《1.省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減》

- ・日頃の定例会議等で、委託業者との連携を密にして施設の機能性、快適性の追求を目指し、活動してまいりました。具体策として、不要電気消灯の観点より、利用が終わった後の連絡を、点検が終わり次第連絡するようにし、点灯時間を短くしました。
- ・大、小ホールに貸出用ブランケットを配置し、冷暖房の効き具合の個人差を解消するようにしました。

《2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について》

- ・館内の廃棄物の量を明確に把握できておらず、適正な数値が検出できませんでした。
(既存データと今後のデータを照会・分析し、目標の見直しを含めて検討中です。)
- ・大、小ホール棟の自動販売機近くに、ペットボトルのキャップを回収するボックスを設置し、利用して頂くお客様にも分別を促しております。

4-2 アルファあなぶきホール

前頁続き

《 3.節水による総排水量削減について》

- ・水道光熱費については指定管理者業務開始時より毎年、経営計画の中に目標を掲げ、縮減に取り組んでまいりました。2008年8月の湯水時より現在まで、施設全体の給水管の減圧を開始継続中です。



- ブランケットを大・小ホールに設置しました。

アルファあなぶきホール
EA21取組み写真



- 月2回の定例会議にてエコアクション21の取り組みを議題案に入れました。



- ペットボトルのキャップの回収をしています。

【 次年度の取組内容について 】

- ・利用していない場所の、消灯・空調の停止を徹底するよう努めます。
- ・グリーン購入品目の見直しをし、グリーン購入の推進購入品目を出来る限り増やすよう取り組みます。
- ・節水・節電表示によるエコ意識の向上・活動推進を図ります。
- ・控え書類などを、パソコンで管理する等のペーパーレス化を推進、実行します。

4-3 高松テルサ

【運用期間 2010年1月～12月】

【単位はご利用者様1名あたりで算出しています】

環境目標	2010年度			2011年	2012年度
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③ 成果 (②-①)	排出量 (目標)	排出量 (目標)
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	2.49 kg-CO ₂	2.52 kg-CO ₂	0.03 kg-CO ₂	2.46 kg-CO ₂	2.42 kg-CO ₂
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	3.882 g	3.262 g	▲0.620 g	3.826 g	3.771 g
3.節水による総排水量削減	24.16 ℓ	28.31ℓ	4.15 ℓ	23.81 ℓ	23.47 ℓ
4.コピー用紙使用量の削減	0,895 枚	0.531 枚	▲0.364 枚	0.882 枚	0.869 枚
5.上記項目の従業員・ご利用者様への啓発	従業員への教育を年3回以上、及び、ご利用者様への啓発を目標として継続中。従業員への教育については実施済み。 ご利用者様へは館内随所にて、カード等により活動と呼びかけております。				
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上(2010年1月～2011年2月)		目標合格者数	受験者数	合格者数	目標合格者数
	09' 12受検	2名	5名	3名	
	10' 07受検	3名	2名	2名	
	10' 12受検		2名	2名	
合計	5名	9名	7名	1名	-

※ 各施設の目標数値は、過去3年の同期の実績値平均を基に設定しております。

※ 施設の稼働状況による変動が大きい為、排出量はすべてご利用者様1名あたりで算出しております。

【活動実績及びその評価】

指定管理者としての運営2年目であり、各業務及び設備の実態を把握しながらの管理運営となっておりますが、委託業者との協力もあり順調です。環境活動の実績やケーススタディも、今後さらに充実させるべく取り組んでいます。これまで実施してきた具体的な事例としては以下のとおりです。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について》

- ・ホール、会議室等終了後、すぐに点検し、中央監視室へ連絡を入れ、空調を止めるようにしました。
- ・最小の照明で清掃して頂く様、清掃業者に要望し対応しました。
- ・ブランケットの貸し出しを行い、冷暖房の効き具合の個人差を解消しました。
- ・立体駐車場1階にLEDの照明を導入しました。
- ・不要な照明スイッチを取り除きました。(配電盤スイッチを3ヶ所常時オフ)
- ・事務所の電気湯沸器を停止しました。2・3階は、7時～23時までの稼働に変更、地下1階は、7時～22時までの稼働に変更しました。
(これまで4台24時間稼働)等を実施し、削減につながりました。



スイッチにシールを貼ることで、照明の入り切りを分かりやすくしました。

4-3 高松テルサ

◀ 前頁続き

《コピー用紙使用量の削減について》

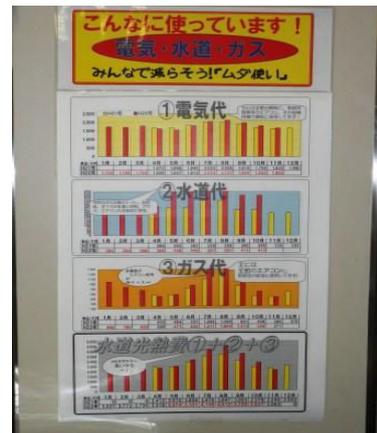
- ・案内板などにより機器の操作方法やスイッチ類の位置を詳しく案内するようにしました。
例えば、コインコピーの操作方法を、図解にしてコピー機のそばに掲示することで、機械の操作間違いによる、ミスコピーが削減しました。

《従業員・ご利用者様への啓蒙について》

- ・事務所、またお客様の見える位置に啓発チラシを貼っており、省エネに対する意識向上につなげることができました。

《節水による総排水量の削減について》

- ・2010年5月に蓄熱槽清掃(2年に1回)のため500tの水を使用したため排水量が増加しました。それを差し引いても猛暑のため排出量が目標値を上回ってしまいました。



【次年度の取組内容について】

- ・リサイクルできる物の分別徹底に取り組みます。
(業者との連携強化)
- ・客室チェックアウト後の節電に努めます。
- ・館内外の自販機(14台)の照明時間の見直しをします。

水光熱費の使用料金を表にし、周知すると共に、日頃から、使用量を目にすることで、社員の省エネに対する意識を高めることにつなげています。

『それぞれの取り組みの効果は、小さいかもしれませんが、全館通年365日で継続的に実践することで、確実に、環境負荷の低減を実現できるものと確信しております。』



ゴミも資源。
ダンボール・新聞紙を分別し、再生利用をしています。



4-4 クアパーク津田・クアタラソさめき津田

【運用期間 2010年10月～12月】

環境目標	2010年度			2011年度	2012年度	2013年度
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③ 成果 (②-①)	排出量 (目標)	排出量 (目標)	排出量 (目標)
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	11.34 kg-co ₂	11.60 kg-co ₂	0.26 kg-co ₂	11.18 kg-co ₂	11.02 kg-co ₂	10.86 kg-co ₂
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	0.218 kg	0.268 kg	0.05 kg	0.215 kg	0.212 kg	0.209 kg
3.節水による総排水量削減	250.2 ℓ	259.0 ℓ	8.8 ℓ	246.7 ℓ	243.1 ℓ	239.6 ℓ
4.コピー用紙使用量の削減	1.05枚	1.06枚	0.01枚	1.04枚	1.02枚	1.01枚
5.上記項目の 従業員・ご利用者様への啓発	従業員への教育を年3回以上、及び、ご利用者様への啓発を目標として継続中。 従業員への教育については実施済み。 ご利用者様へは館内随所にて、カード等により活動呼びかけております。					
6.エコ検定合格(受験) による環境意識の向上 (2010年1月～ 2011年2月)		目標 合格者数	受験者数	合格者数	目標 合格者数	目標 合格者数
	10' 12受験	1名	4名	2名		
	合計	1名	4名	2名	1名	-

※基準値:2009年1月～9月までの利用者一人当たりの数

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.378 kg-CO₂/KW(四国電力)

【環境活動実績及びその評価】

残念ながら、今期は目標達成ができた項目はありませんでした。短いデータ収集期間で目標設定し、活動して来たが、前記のとおり結果となり、今後のデータ蓄積の中での基準値・目標値の見直しが必要と思われまます。

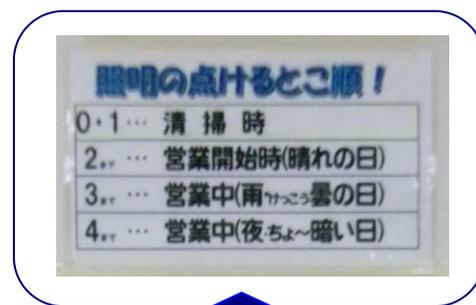
特に総排水量については、井水・海水の使用量の把握が始まったばかりで、今回活動には反映されておりません。次年度末には、全使用量・排水量を把握し、適切な目標設定をして以降の活動につなげたいと考えております。

《1.省エネルギー化推進によるCO₂排出削減 について》

・節電マニュアルに従って、館内電気スイッチの入切を実施しました。利用状況や、天気に応じてきめ細かく調整をすることで、省エネルギー化に貢献でき、また、従業員の省エネに対する意識向上にもつながっています。

・重油使用量削減のため、営業時間外は大浴場とプールに放熱防止の為、シートを被せています。

また、今年度にエコキュートを設置できるよう、SA公社に提案・交渉を行う予定です。



館内スイッチパネルへの掲示



未使用時の放熱防止の為のブルーシート

4-4 クアパーク津田・クアタラソさぬき津田

前頁続き

《 2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

・分別収集の推進に取り組んでおります。その中で昨年10月より全館でエコキャップ運動に取り組みました。

エコキャップ回収ボックス周囲に案内プレートを置き、より多くの来館者に参加を呼び掛けました。

又、回収した、エコキャップは、地元貢献として津田中学校へ持って行く事にしています。



エコキャップ回収ボックス

《 4. コピー用紙削減について 》

・ミスコピーの削減や、必ず必要コピー枚数の確認をするように努めて来ました。今後もペーパーレス化の推進等の更なる活動を継続して行きたいと思えます。

《 5. 上記項目の従業員・ご利用者への啓発 》

・従業員については、各種会儀や、朝礼、社内掲示を通じて、意識の向上に努めて参りました。また、お客様に対しては、各所に掲示を実施、省エネ、節水、リサイクルの呼びかけを実施しております。

《 その他の活動 》

・クアパークでは景観上、好ましくない場所が数箇所ありましたが、社員により植栽を実施、美観を改善すると共に、環境緑化にもつながりました。

【 次年度の取組内容について 】

まだ始まって3ヶ月の為、今年度も2010年度と同様に行なう予定ですが、一人一人の行動が大切であると思えますので、定期的なミーティング・啓発掲示により意識を高めたいと考えております。



4-5 津田の松原サービスエリア

[運用期間 2010年10月～12月]

環境目標	2010年度			2011年	2012年度	2013年度
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③ 成果 (②-①)	排出量 (目標)	排出量 (目標)	排出量 (目標)
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	1.01 kg-CO ₂	1.04 kg-CO ₂	0.03 kg-CO ₂	1.00 kg-CO ₂	0.98 kg-CO ₂	0.97 kg-CO ₂
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	0.050kg	0.046 kg	▲0.004kg	0.049kg	0.048kg	0.048kg
3.節水による総排水量削減	22.87 ℓ	23.56 ℓ	0.69 ℓ	22.54 ℓ	22.22 ℓ	21.90 ℓ
4.コピー用紙使用量の削減	0.096枚	0.100枚	0.004枚	0.095枚	0.094枚	0.092枚
5.上記項目の従業員・ご利用者様への啓発	職員への教育を年6回以上実施利用者への啓蒙を100%以上実施する。					
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 (2010年1月～ 2011年2月)		目標 合格者数	受験者数	合格者数	目標 合格者数	目標 合格者数
	10' 12受験	1名	2名	0名		
	合計	1名	2名	0名	1名	-

※ 基準値:2009年1月～9月までの利用者一人当たりの数

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.378 kg-CO₂/KW(四国電力)

【 環境活動実績及びその評価 】

今期10月～12月の活動成果は未達となっており、その要因として考えられることを下記に挙げます。

① 省エネについて

認識不足による空調温度設定の間違いや、倉庫等の照明器具消灯ができていませんでした。

② 分別リサイクルについて

生ゴミ廃棄が客数減少により増えてしまったことにあり、製品の製造量調整及び、二次加工製品に転用等による排出量減量に努めて参ります。

③ 節水について

未達ながら累計としてほぼ計画通りに推移しており、更なる節水に努めます。

④ コピー使用枚数

若干名の人員増により枚数増につながりました。

津田の松原サービスエリアにとって、「従業員全員への啓発活動」を現時点での最重要課題として捉えて活動しております。当部門の場合、ほとんどがパートさんであり、就業時間もシフト制(平均6時間)によって異なります。まずは、全従業員の意識向上を図りボトムアップをしていく所存です。

【 具体的取り組み内容について 】

① 啓発表示例

各照明及び空調リモコンスイッチへの啓発表示。



各倉庫に 『使用後は消灯』 A4版、スナックコーナーに『こまめな節水』 A4版を設置しました。

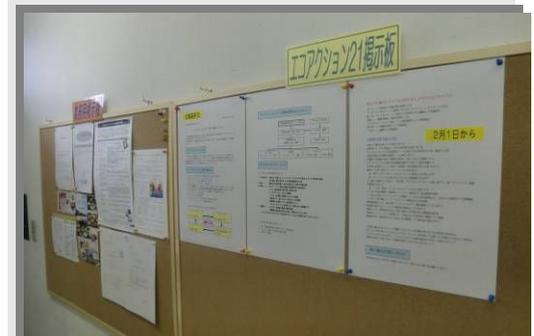
4-5 津田の松原サービスエリア

前頁続き

- ② エコアクション用掲示板作成(A3版3枚)。これから、各現場でなにをすべきか表示した。

「掲載内容」

- ◎ エコアクション21とは何かを短く噛み砕いて説明。
- ◎ 取り組み方の説明(3R、PDCAサイクル)
- ◎ 取組組織図
- ◎ 排出ゴミでリサイクルされるものの説明
- ◎ 『私たちに出来ること・具体的な取り組み』
として具体的な取り組み内容の指示



エコアクション21についての掲示

- ③ ゴミ集積場に分別表示を設置

カン・ペット・ビン、生ゴミ、可燃物、不燃物等

- ④ 活動の為の修繕項目

下り売店倉庫（豆吉倉庫・その他売店倉庫）照明を2分割に、使用後は各自消灯していただくことにしました。

【次年度の取組内容について】

- ① 平成23年2月1日より、スナックコーナーに於いて、割り箸の分別（再生）を開始。

- ※ 分別用容器を新設し、大きく表示をすることにより、お客様が容易に分別廃棄出来るようにしました。
- ※ 割り箸リサイクル施設に使用済み割り箸を搬出する仕組みを作りました。

- ② 『私たちに出来ること・具体的な取り組み』に基づいて
順次活動し、活動結果を記録・検証致します。



5. 今後の環境活動計画（全施設共通）

■エコアクション21に基づき環境目標から展開される主要な環境活動計画の内容は以下の通りです。今後さらに環境活動に注力する目標を全施設共通として以下に示します。

1. 『省エネルギー化の推進』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 適正空調温度の管理(クールビズ・ウォームビズの励行)
- ② 不要照明・エアコンの適正管理(ON-OFF 管理と確認の徹底)
- ③ 空調機器等の適正使用(フィルターの定期的清掃等)

2. 『廃棄物分別・リサイクル』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 紙ゴミの分別(リサイクルの推進)
- ② 缶・ビン・ペットボトルの分別・リサイクルの推進
- ③ 使用済封筒・ファイル等の再利用



3. 『節水』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 止水栓や節水こまによる使用水量の削減
- ② 水使用場所での節水の呼び掛け徹底



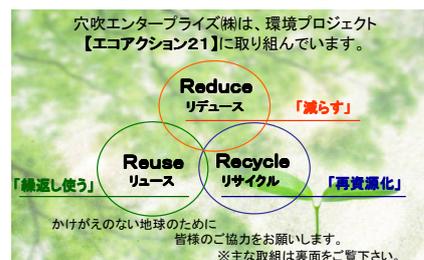
5. 『コピー用紙使用量削減』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 事務スペース内電子回覧の推進
- ② ミスコピーの廃絶(印刷前の倍率・サイズ等の再確認)
- ③ 予備コピーをとらない。

5. 『環境配慮啓発活動』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 従業員教育の実施
- ② ミーティング時に実績報告と削減啓発
- ③ 積極的な場内掲示や環境活動啓発カードの配布

【環境活動啓発カード】



6. 『エコ検定合格(受検)』、「私たちは、こうします。」

従業員のエコ意識を高めるため、関係者は計画的に受検を進め、エコ検定の合格者を増やします。

上記の各活動については、「環境活動監視チェックシート」を用いて定期的に監視・測定を実施し、環境目標の達成に向けて努力致します。又、来期(4月)からは『グリーン購入の促進』についても目標に定め、活動を開始する予定です。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の活動に係る環境関連法規の遵守には日頃から注意を払っており、違反、訴訟等は全くありません。

7. 代表者による全体評価と見直しについて

※(代表者による見直し記録から・・・2011年2月3日実施)

I.EA21(09年版)ガイドライン移行日について

4月1日の環境経営システムマニュアルの運用開始と同時とすること。



II.EA21の運用拡大について

1. ホテル事業部:平成23年7月運用開始、平成24年の更新審査に合わせて認証登録を目標とする。
2. ゴルフ事業部:平成24年7月運用開始、平成25年の中間審査に合わせて認証登録を目標とする。

III.会社の運用状況に対する評価について(各部署からの報告事項を受けての見解)

1. 目標数値は、適宜見直し、適切な目標設定とすること。
2. お客様へのサービスレベルの維持・向上を常に念頭に置き、エコアクション21の活動を推進すること。
3. 環境への取組状況は、積極的に公開し、お客様などのご理解を得られるように努めること。
4. 各施設の具体的活動事例の水平展開を実施し、全社の環境経営システムの向上を図る事。



EA21 活動状況報告会

当社は、今後とも全社を挙げて、環境に配慮した活動に取り組み、継続的に改善してまいります。そして、この活動を自社のみでとどめるのではなく、広くご利用者様、地域社会の皆様のご理解・ご協力を得て、『持続可能な社会の実現』に向けて、貢献させていただけるように努めます。

地球環境の悪化がこれ以上進まないように憂慮され、常に問題意識をお持ちになる皆様と共に、次の世代に、よりよい地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。

以 上



発行日：平成23年3月1日

※ 今後随時、環境活動レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL にてご覧ください。

<http://www.anabuki-enter.jp/>